

茨城県陶芸美術館 企画展

神業ニッポン 明治のやきもの

幻の横浜焼・東京焼

プレス・リリース



さあ、盛り
上がって

幻の横浜焼・東京焼

神業ニッポン 明治のやきもの

茨城県陶芸美術館
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM
〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地(笠間芸術の森公園内)
Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0012 http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/

2020
4/18 SAT / 6/28 SUN

参りました。

茨城県陶芸美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345番地（笠間芸術の森公園内）
Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0012 <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名

神業ニッポン 明治のやきもの 幻の横浜焼・東京焼

2 主催

茨城県陶芸美術館

3 会期

2020年4月18日(土)－6月28日(日) 62日間開催

4 利用情報

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入場は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし、5月4日（月・祝）は開館）、5月7日（木）

開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入場は午後4時30分まで）

5 観覧料

一般730(580)円 満70歳以上360(290)円 高大生520(420)円 小中生260(210)円

※（ ）内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳または指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方および付き添いの方
[ただし1人につき1人まで]は無料。土曜日は高校生以下無料。

6 展覧会概要

1859年の横浜開港による欧米との本格的な貿易の始まりとともに、日本の美術工芸品が注目を集め、なかでも陶磁器は多大な人気を博しました。華やかな装飾による精緻を極めた作品の数々は、欧米諸国で開催された万国博覧会で高く評価され、多くの作品の輸出が始まります。これらの需要を満たすため国内各地から横浜や東京に陶磁業者が集まって一大窯業地を形成し、技巧を凝らした輸出向け陶磁器、いわゆる「横浜焼・東京焼」が生産されることとなります。これらの地域の陶磁業者数は、最盛期では優に500を超える盛況ぶりでしたが、活動期間の短かさや輸出品であるがゆえに国内に留まった作品が少なく、現代では“幻の陶磁器”と呼ばれています。

本展では国内随一のコレクターである田邊哲人氏によって里帰りしたコレクションから精選した作品と、日本に現存する優品とをあわせた約150件が一堂に会します。宮川香山や井上良斎など横浜、東京を代表する作家をはじめ、世界を魅了した明治の職人たちの卓越した技術の全貌に迫ります。

広報文1（40文字）

本展では、横浜・東京で作られ世界を魅了した明治の輸出陶芸約180件を紹介します。

広報文2（約78文字）

江戸時代末期の横浜開港を期に日本陶磁器の海外輸出が盛んになり、横浜や東京に多くの陶磁業者が集まります。本展では宮川香山や井上良斎をはじめとする約150件の作品によって明治の卓越した技術の全貌に迫ります。（78文字）

広報文3（約193文字）

江戸時代末期の横浜開港を期に、日本の陶磁器は欧米の万国博覧会等で高く評価され、多くの作品が海外に輸出されます。横浜や東京には宮川香山や井上良斎を代表とした多くの作家が集まり、一大窯業地としての「横浜焼・東京焼」が誕生しました。本展では、国内随一のコレクターである田邊哲人氏によって里帰りしたコレクションを中心とする約150件の作品によって、明治の職人たちの卓越した技術の全貌に迫ります。

7 見どころ

- (1) 明治時代に海外に渡った貴重な里帰りの陶芸作品約150件を一堂に展観。
- (2) 宮川香山や井上良斎など、世界的に評価の高い明治期の作家の作品がまとまって見られる。
- (3) 動植物が立体的に装飾された「高浮彫」の迫力ある造形。
- (4) 明治の作家の、現代では再現が難しい精緻で多彩な絵付の数々。
- (5) 日本的な絵付けの洋食器など、西洋と東洋が融合された個性豊かな作品。

8 関連イベント

- (1) 記念講演会「幻の横浜焼・東京焼 ―その魅力にせまる―」[予約不要]
講師：荒川正明氏（学習院大学教授 本展監修者）
日時：4月25日（土）13:30～15:30
場所：当館1階多目的ホール（聴講無料）
定員：120名

- (2) ワークショップ「転写シートで幻の令和焼を作ろう」[要予約]
内容：白磁のペアカップに転写シートを貼り付けた、オリジナル作品を作ります。
日時：5月9日（土） 第1回10:00～12:00 第2回13:30～15:30
場所：当館地下1階研修室
対象：中学生以上
参加費：1,500円（展覧会をご覧頂く場合は、別途観覧料が必要となります。）
定員：30名（先着順・各回15名）
予約：電話、またはFAXにて4月18日（土）9:30より受付開始。

- (3) ギャラリートーク [予約不要]
担当学芸員が展覧会をご案内します。
日時：5月23日（土）、6月6日（土）
場所：当館地下1階 企画展示室
参加費：無料（観覧料にてご聴講いただけます）

9 問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345（笠間芸術の森公園内）
TEL：0296-70-0011 FAX：0296-70-0012
担当学芸員：学芸課 飯田 e-mail：iida.syougo@post.ibk.ed.jp
広報担当：企画管理課 柴崎 e-mail：kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

10 出品作品画像

下記の作品画像は、広報担当の e-mail アドレスまでご連絡いただければデータをお送りします。使用の際には作品キャプションを併記してください。



たかうきぼりぼたん ねむりねこかくせいだいこうろ
宮川香山「高浮彫牡丹ニ眠猫覚醒大香炉」
明治前期 田邊哲人コレクション
(横浜美術館寄託)



たかとりゆうたかうきぼりかに かびん
宮川香山「高取釉高浮彫蟹花瓶」
1916年 田邊哲人コレクション
(神奈川県立歴史博物館寄託)



井村彦次郎 絵付：瓢池園
いろ え みみずくもんさんぞく かびん
「色絵木菟文三足花瓶」1879年
田邊哲人コレクション



加藤友太郎
ゆう か きいこいもんみざし
「釉下彩鯉文水差」
田邊哲人コレクション



たかうきぼりうんりゆう かびん
井上良斎「高浮彫雲龍花瓶」
田邊哲人コレクション



高坂藤右衛門
いろ え ぎよかいもんちやき
色絵魚貝文茶器セット (ポット、碗・皿)
田邊哲人コレクション